

2013年〇月〇〇日

提出課題（第7回）

学籍番号〇〇〇

名前〇〇〇

（1）世界のCO2排出量

（ここに各自、図から気付いた事をコメントする）

（例）世界のCO2排出量は、中国がトップで、次いでアメリカ合衆国である。この2国が圧倒的に多いため、アメリカ、中国が中心となって排出量の抑制をすべきであるといえる。しかし現実には、どちらかといえば、日本やEU諸国のほうがCO2排出量の抑制には積極的である。

コメント [H1]: 太字にすること。
「ホーム」→「フォント」→「B」

コメント [H2]: 自分自身で分析してコメントすること。

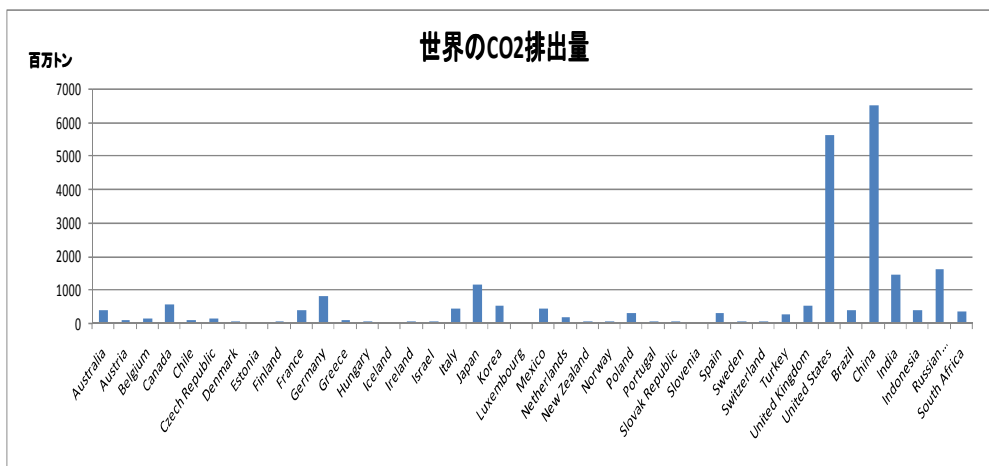


図 世界のCO2排出量 (単位: 百万トン)

コメント [H3]: 図の下側に太字でタイトルを書くこと。

図は、エクセル上で全国名が表示されるまで、横に伸ばすこと。そして、コピーしてWordに張り付けるが、「形式を選択して貼り付け」を選択して、「拡張メタファイル」で貼り付けること。

「ホーム」→「貼り付け」(下側をクリック) →「形式を選択して貼り付け」→「拡張メタファイル」

図には、「タイトル」と「縦軸の単位」を必ず表示させること。エクセル上で図をアクティブにして、右クリック、またはメニュー・バーの部分から作ることができる。

（2）世界のCO2排出量の増加率

（ここに各自、図から気付いた事をコメントする）

（例）増加率をとると、中国が最も多く、続いてインド、トルコ、チリ、インドネシアといった発展途上国となる。スウェーデンやポルトガルといったヨーロッパ諸国では排出量はマイナスである。日本もこの8年間で若干であるが減少している。

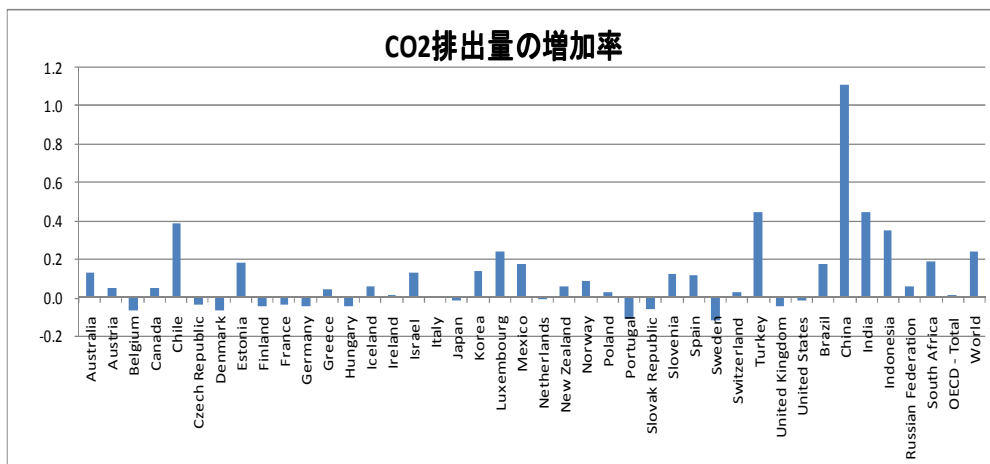


図 CO2 排出量の増加率

(3) まとめ

(ここに (1) と (2) から得られた知見をもとに簡単に自分の意見をまとめる)

(例) CO2 の排出量については、アメリカ合衆国と中国が絶対量としては多いことがわかった。さらに、発展途上国の排出量が増加傾向にある一方、日本やヨーロッパ諸国は排出量が減少傾向にあることもわかった。今後の CO2 対策は、アメリカ合衆国と発展途上国の対応次第で大きく変わることになるであろう。

以上

コメント [H4]: 自分の意見をまとめること。